



図書館だより



2024. 12 伊丹市立東中学校 図書館

★クリスマスと冬至★

現代の12月25日といえば、キリスト教の神様「イエス・キリスト」の生誕を祝う日、いわゆる「クリスマス」の日というイメージが強いのではないのでしょうか。しかし古代における12月25日は「冬至」の日であり、「太陽の復活」を祝う様々なお祭りや、キリスト教とは異なる宗教の神様の誕生日として知られていました。現在世界中で広く採用されているグレゴリオ暦（新暦／太陽暦）の元となる暦が生まれた古代ローマでは、12月25日が冬至の日と定められていました。

冬至の日は、1年のうちで最も昼間の時間が短くなる日です。昔の人々は、この日を「太陽のパワーが最も弱まる日」とであると考えました。力の衰えた太陽は、冬至の翌日から徐々に復活し、それに伴い昼間の時間が長くなっていきます。つまり冬至の日は、太陽が一度滅び、再び力強く生まれ変わる「再生の日」だったのです。

古代ローマ時代には12月25日に固定されていた冬至の日ですが、現在の暦では毎年同じ日に巡ってくるわけではありません。現在、冬至の日は「太陽が黄経（天球上の太陽の通り道である「黄道」の経度）270度を通過する日」と決められています。

2024年の冬至は、12月21日です。

《開館案内》

開館日時：昼休み

冬休み貸出：8冊

★12/10～16 親子開館★

※三者懇談の期間中、図書室を開館します。ぜひ、親子で本を借りに来てください！！

開館時間：14：00～16：00

☆☆おすすめの本☆☆

『あやし、おそろし、天獄園 [1] [2] 銭天堂番外編』

廣嶋 玲子 偕成社

①「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズに登場した「怪童」が経営する遊園地「天獄園」が舞台のスパインオフ作品。遊園地のお試しチケットに招かれた、6人の恐怖体験を描く。

②「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」シリーズに登場した「怪童」が経営する遊園地「天獄園」がふたたび開園！パレードあり、おみやげあり、少女がつくるキャンディショップに、天才教授のアトラクションも登場し…。

『大人も知らない「本当の友だち」の作り方』

松本 啓子 講談社

明日提出のノートを「貸して」と言われたら？ 学校生活を楽しむのもユーウツにするのも友達次第。会話のルールをマンガと解説・実践例・Q&Aで紹介。

『おしごとそうだんセンター』

ヨシタケ シンスケ 集英社

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、風変わりな職業相談所。宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、働くことの意味を考え…。「仕事」の意味を問い直し、明日をちょっと明るくする、ヨシタケ版“ハローワーク”ストーリー。

『ポアロのクリスマス』

アガサ・クリスティー 早川書房

クリスマス・イヴの夜、大富豪シメオンがありえない状況で殺された。ドアには中から鍵がかかり、窓もふさがれていたのに、犯人が部屋にいなかったのだ。犯人はどうやって部屋に入り、どこに消えた？ ポアロが密室殺人に挑む！

『クリスマスの猫』

ロバート・ウェストール 徳間書店

11才のキャロラインは牧師のおじさんの家にあずけられていた。おじさんはやさしいけれど気弱で、性悪な家政婦のいいなり。家は寒く、外出は禁じられ、友だちは猫と高い塀を越えて現れた少年だけだった。クリスマスの物語。

『クリスマスのキャロル』

ディケンズ KADOKAWA

クリスマス前夜、強欲で冷酷で無慈悲な老人スクルージの前に、「過去」「現在」「未来」の3人の精霊が現れた。精霊たちはスクルージにさまざまな「光景」を見せつけていき…。クリスマス・ストーリーの傑作。

内容紹介：ことば蔵 HP より

※紹介した本は全て図書室で借りられます。